

# 大型「つかめる水」できた

静岡理工科大(袋井市)は21日、お理工塾夏のおもしろ理科教室in富士富士宮を富士宮市の星陵中・高で開いた。富士地域の小学1〜3年生を中心に約60人が、「つかめる水を作ろう」をテーマに実験に取り組んだ。

(富士宮支局・白柳一樹)



つかめる水の生成実験に取り組む児童

|| 富士宮市の星陵中・高

## 静岡理工科大が富士宮で理科教室 小学生が実験楽しむ

同大の学生有志でつくる「お理工塾応援隊」の20人が企画立案から運営までを担い、星陵高の生徒も協力した。児童は塩化カルシウムを溶かした水にアルギン酸ナトリウム入りの水を入れ、球体の膜が固まる様子を観察。絵の具で着色した水をスポイトで垂らし、小さなイクラ状の物体を生成した。おたまですくった水溶液では、大型の「つかめる水」が完成した。

富士市立鷹岡小3年の佐野汐梨さんは「触ってみると硬かった。楽しい実験だった」と振り返った。同塾は子どもたちにもものづくりや理科の実験への興味関心を高めてもらおうと、県内各地で開いている。